

# 2023年12月期決算概要



連・単ともに最高益を更新。原材料高騰が長期化する中で2極化・3極化戦略が奏功し、売上が大幅伸長

	連 結				単 体				( 本 体 )
	実 績	前期比	前期差	予想比	実 績	前期比	前期差	計画比	(前期比)
売 上 高	11,756億円	109.2%	986億円	100.3%	8,216億円	106.9%	529億円	100.2%	(106.7%)
営 業 利 益	420億円	190.5%	199億円	106.2%	307億円	202.5%	155億円	105.9%	(178.7%)
経 常 利 益	455億円	174.2%	194億円	104.7%	353億円	174.4%	151億円	103.8%	(159.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	302億円	243.9%	178億円	109.7%	230億円	206.4%	119億円	106.9%	(171.0%)

- ・ 当社グループは、科学的根拠をもった新型コロナウイルス感染防止対策を緩めることなく継続して実施し、食糧の安定供給に努める。業績は年初から順調に推移し、連結・単体ともに過去最高益を更新。
- ・ 食パン・菓子パンの価格改定において、お客様ニーズの変化を徹底的に分析し、2極化・3極化戦略を進める。2023年7月の価格改定では、特に菓子パンにおいて、単価アップに加え、数量増を実現し、売上が大幅に伸長。また、2023年4月の輸入小麦の政府売渡価格の改定において、激変緩和措置が講じられ、パンの値上げ幅が抑制されたことがパンの需要を底上げ。
- ・ 「小売事業業績改善プロジェクト」を通じた、女性製品開発担当者を中心としたチームによる「一品がものを言う」、「売れて儲かる」製品開発の取り組みが、ヤマザキパン本体の新製品開発にも良い影響を与える。
- ・ 今期も2極化・3極化戦略推進。足元1月のヤマザキパン本体の売上高は前期比106.1%、収益面も前期を上回り好調を維持。
- ・ 子会社群も順調。不二家苦戦も他の子会社群の業績が向上。サンデリカと東ハトは増益、ヤマザキビスケットは想定以上に収益が改善、ヴィ・ド・フランスは改善が進み黒字転換。新規連結のYKベーキングカンパニーは黒字確保。